

# ひたちの文化

- 2 エッセイ⑪ 佐藤 信一郎さん  
 3 日立市文化少年団ご紹介⑪  
 3 日々を詠む⑪ 川柳 三浦 武也さん  
 4 My 仕事⑪ 中里ドッグガーデン 菊池 守弘さん

- 5 日立市民会館開館60周年記念事業について  
 郷土の歴史との出会い③ 綿引 逸雄さん 6  
 将棋への魂 終 矢代 豊さん 7  
 「純烈コンサート」「石井竜也コンサート」ご案内 8



## 「晩秋」



撮影者：島田 道子さん（日高町在住）  
 撮影場所：十王町高原「たかはら自然塾」

いつた日々の重なりをそつと想い出させた。  
 師走に入り、街のざわめきと山の静寂が対照的に響きあう。時間の流れは容赦なく速く、気の奥まで冷たさが届き、同時にどこか心を新しく整える力があるようにも思える。季節は、たゞ移り変わるだけではなく、確かに節目として人の内側にも静かな線を引いていくのだろう。ふと見上げた枝先のわずかな揺りには、過ぎて

いたる年の重なりをそつと想い出させた。  
 師走に入り、街のざわめきと山の静寂が対照的に響きあう。時間の流れは容赦なく速く、気の奥まで冷たさが届き、同時にどこか心を新しく整える力があるようにも思える。季節は、たゞ移り変わるだけではなく、確かに節目として人の内側にも静かな線を引いていくのだろう。ふと見上げた枝先のわずかな揺りには、過ぎて

いたる年の重なりをそつと想い出させた。  
 晩秋の陽はやわらかく傾き、山あいに静けさを落としていく。木々はそれぞれの色を深め、朱、橙、金が入り混じり、ひとつの季節がゆっくりと熟していく。鮮やかな黄葉の梢は、まるで光を宿すように輝き、薄曇りの空の下でひとときわ凜と立つ。その足もとでは、風に押されるよう葉がひらりと舞い、地面に落ちた瞬間、短い旅を終えた小さな命の気配が消えていった。

山を包む空には、晩秋ならではの張りつめを清らかさがある。ゆっくりと吸いこむと、胸の奥まで冷たさが届き、同時にどこか心を新しく整える力があるようにも思える。季節は、たゞ移り変わるだけではなく、確かに節目として人の内側にも静かな線を引いていくのだろう。ふと見上げた枝先のわずかな揺りには、過ぎて

いたる日々の重なりをそつと想い出させた。  
 黄葉の大樹が、ゆるやかに冬の光を受け止め。その姿は、季節の変わり目に立つ者だけが持つ静かな高さを見せていた。色を失っていく山並みのなかで、なあ輝きを保つその一本は、來るべき新しい年への道標のように見える。自然はいつも、言葉を持たずに何かを示し、歩みを整えてくれる。

まもなく訪れる新年の気配が、冷たい風の奥にわずかに混じり始めている。季節の境目に立ちながら、今だけに宿る色彩と静けさを胸に刻むとき、自然の営みの確かさがひとつの希望のようになってしまった。

## エッセイ

116

## 二十三夜尊から繋がる 日立銀座通りの地域活性

佐藤 信一郎



佐藤 信一郎(さとう しんいちろう)



二十三夜尊

みなさんは『二十三夜尊』について御存じでしょうか？  
御存じでない方も多いと思いますので、まず『二十三夜尊』について簡単に説明したいと思います。

『二十三夜尊』とは『勢至菩薩』を祀る昔から存在する日本の信仰で、戸時代に民間から流行した信仰です。『勢至菩薩』は、農耕や漁業の神として知られ、二十三夜の月（下弦の月）の日に、豊作を祈願していた流れから、現在では、全国各地にある勢至菩薩を祀るお堂（二十三夜堂）で、縁日が開催されるようになりました。

『日立銀座通り』にも昔から『二十三夜尊』

存じでしょつか？  
御存じでない方も多いと思いますので、まず『二十三夜尊』について簡単に説明したいと思います。

『二十三夜尊』とは『勢至菩薩』を祀る昔から存在する日本の信仰で、江戸時代に民間から流行した信仰です。『勢至菩薩』は、農耕や漁業の神として知られ、二十三夜の月（下弦の月）の日に、豊作を祈願していた流れから、現在では、全国各地にある勢至菩薩を祀るお堂（二十三夜堂）で、縁日が開催されるようになりました。

『日立銀座通り』にも昔から『二十三夜尊』



二十三夜尊縁日風景

三夜尊縁日があり、旧暦の23日は『二十三夜尊縁日』が開催されていました。なお、他近辺の二十三夜堂では、あじさいで有名な水戸の保和苑の隣にある桂岸寺で『二十三夜尊縁日』が開催されており、どちらもこの縁日の口には、縁結びや金運、合格を祈願するためが多く参拝者が訪れていました。

次に『日立銀座通り』の『二十三夜尊縁日』について説明したいと思いま。『日立銀座通り』の『二十三夜尊縁日』は、『ひたちあきもーる商店街』で、縁日が通りを通行止めにして、朝9時から午後2時まで『二十三夜尊縁日』を開催し、新鮮野菜、お団子、焼き鳥、

しじキッキンカーやクリフフードなど出

店して戴

たり、

子供から

大人まで

楽しめる

イベント

説明、

演劇、朗

読、大道

芸など)

を増やし

たり、

『二十三夜尊大縁日』は午後2時で終わ

りにせず、夕方まで延長したりと、信

仰する方々だけでなく、一般の方々

も楽しめるよう新しい工夫を取り入

れながら、毎日開催している『二十三

夜尊縁日』の部分は残しました。

おかげあわせで『二十三夜尊大縁日』

は毎年好評を博し、2019年から

今年2025年までの第7回まで開

催すことができています。

また『二十三夜尊縁日』は、旧

暦だと信仰する方々以外の方々

には開催日がわからなくていいこともあ

り、来年2026年から旧暦ではな

く新暦23日に開催します。

『二十三夜尊』の流れとは相違して

しまいましたが、新暦23日には祝日が

3回あり、来年2026年は土日にな

る曜日も加えると5回土日祝日にな

るという嬉しい変化もあります。

周囲の人や環境の変化を楽しみな

がら『二十三夜尊縁日』と『ひたちあ

きもーる商店街』の活動をこれから

も続けていきたいと思いま。

応援のほどよろしくお願い致しました。

そんななか『ひたちあきもー

る商店街』の中心地である

『よつて家』という『ヨリヨーティ

スペースが、今年6月30日に閉

店しました。

これからはいの『よつて家』を

老若男女、常時、人が集まる場所

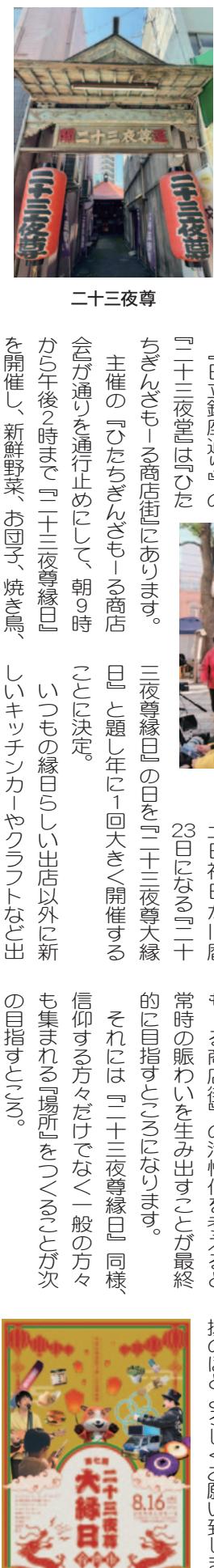
にしながら『二十三夜尊縁日』を

盛り上げていきたいと考えてい

ます。



二十三夜尊大縁日の様子



今年の大縁日チラシ



## 日立珠算連盟

さまざまな  
文化に触れよう!

## 日立市文化少年団ご紹介 ⑪

日立市文化少年団をご紹介します。日立市では現在25の文化少年団がさまざまな分野で文化活動に取り組んでいます。どの団体も幼少期から多様な文化に触れ、日本の伝統文化や新しい文化を学ばせることを目的としています。また、次世代への文化の継承という意味でも文化少年団は大切な役割を担っています。毎号2団体ずつ、本誌面で紹介していきます。

昔から、「読み、書き、そろばん」と言っている、学びの基礎として身近なそろばん。日本の教育文化として長い歴史を持つ、その中で日立珠算連盟は昭和48年設立、55年の歩みを経てきました。

デジタル化の現代において、単なる計算道具としての役割を超える子供から、シニア層まで脳の活性化に与える効果が大きいとの研究結果もあるほど、「脳のスポーツ」として見直さ

れていました。

そろばん学習は、計算能力の飛躍的な向上のみならず、集中力養成にも役立つツールとして、初心者の方でも安心して、学べる環境を整えています。是非、教室に足を運んで体験してみてはいかがでしょう。



## 日立珠算連盟の案内

**活動日時:** 各珠算教室（「日立市 日本珠算連盟」で検索）  
**活動場所:** 日立市、高萩市、東海村、常陸太田市の各珠算教室  
**入団条件:** 各珠算教室  
**会費(参加費):** 各珠算教室（無料体験できます。）  
**申し込み方法:** 電話か直接（お近くの教室を紹介します。）  
**申込先と:** 日立珠算連盟事務局（日立商工会議所内）  
**問い合わせ先:** 〒317-0073 日立市幸町1-21-2  
TEL 22-0128 FAX 22-0120

## 子ども茶道教室

### 日々を詠む

《選・評 三浦 武也》

#### 平和へのたつた一文字が遠い星

石川 一三男

字にすればたつた一文字の平和であるが、世界中飽くなき願望をする平和である。しかし青い地球のどこかで銃声が聞こえます。作者はこの美しい星を傷めることなく後世に伝えたいと願っているのです。

（作者は川柳ひたち野杜所属）



## 子ども茶道教室の案内

**活動日時:** 【令和7年度まで】毎月第3日曜日（5, 6, 7, 9, 10, 11, 2月）13:40～15:40  
【令和8年度以降】毎月第3日曜日午前  
※時間は人数により変更になる場合があります。  
**活動場所:** 【令和7年度まで】宮田交流センター和室  
【令和8年度以降】中小路交流センター  
**入団条件:** 小学1年生から高校3年生まで  
**会費(参加費):** 3,000円／年（初回にお支払いください。）  
**申込方法:** ハガキ（郵便番号・住所・氏名・学校名・学年・性別・電話番号を書いてください。）ひたちこども芸術祭でも受け付けます。  
**申込先と問い合わせ先:** 鹿志村 裕子  
〒317-0063 日立市若葉町3-11-12 小澤方 携帯：090-3592-9209

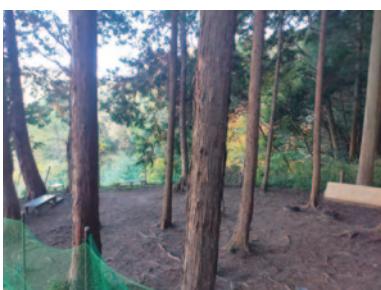


手作りの看板がお出迎え

——この地は妻の実家の土地でした。あじいさんもお年だし、この土地をどうあるという話が出ましてね。外資系の仕事をしていましたが、そこを定年になつたタイミングでした。土地はとにかく広さがありましたし、水戸に住んでいた私からしても空気が美味しい。環境がいいと思いましたね。ドッグランと力フエをやろうかと考えたわけです。周りからは色々な意見をいたしましたが、うまくいく自信がありました。



## 思い切り走れる広さ

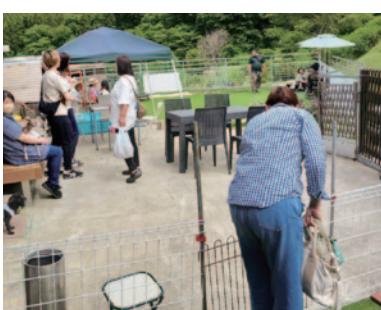


まるでアスレチック



四季折々の美しさが楽しめる

季節の花  
が咲き誇  
つて、辛  
さを忘れ  
させてく  
れます。 | 茜



休日には多くの利用者が訪れる  
(インスタグラムより)

## 動物関係の仕事をしてい

いただいています。地元の方は中里で一番人が集まっている場所だなんて言われますね。

——カツエの材料は地元の農家さんから仕入れています。お米も野菜も果物も地元のものを使いたいなと思いました。例えばリンゴといえば大子町を思い浮かべる方が多いと思うんですけど中里のリンゴ、めちゃめちゃ美味しいんですよ。他県から来たお客様も「こじでリンゴを食べてびっくりされます。中里の食材の美味しさを知つてもうえればうれしいですね。

—— うちにはシックランが4  
カ所あります。ずっと山道を  
歩いてもらつてもいいし、4つ  
のドッグランのどこかでゆつく  
り遊んでもらつてもいいです。  
だいたい50頭から60頭のワン  
ちゃんが一度に入れます。ただ  
敷地が広いので草刈りや庭木の  
手入れは本当に重労働。でも

——自分の年齢もあります、  
これ以上の拡張は考えておりません。自分たちで食べていいればそれで充分だと思っていますが、でも、何かの縁でここにいらっしゃもらっていますので、微力ながら地域の力になりたいなと思っていらんです(笑)。

# Mv 仕事 (135)

NAKAZATO DOG GARDEN

代表 菊池 守弘さん  
(中里町)

時が止まつたかのようになに静かな山間の地に  
菊池さんが當む「NAKAZATO DOG  
GARDEN」があつた。取材に訪れた日も平  
日にもかかわらず、お客様が愛犬たちと遊びに  
来ていた。県内で食事もとれるドッグランは多  
くない。この山を見た時、絶対ドッグランだとい  
うひらめきがあつたという菊池さん。そんな  
菊池さんにお話を伺つた。

ゆつくり過ごしていただくお手伝い

ユ一を勧めながら、とにかく喜んでわらえるのをと勧めました。

休日は設定

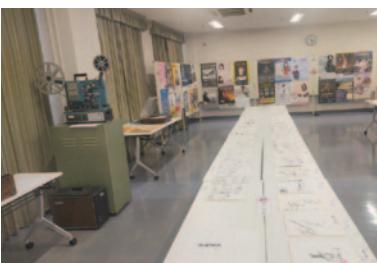


15人が入れる食事ブース



### 3周年記念の寄せ書き

# 日立市民会館開館60周年記念事業について

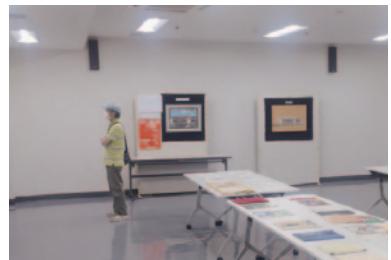


職員一同、深い感謝の気持ちでいっぱいです。会館を訪れてくださる方々の笑顔や励ましの声が、私たちの歩みを支える原動力となつてきました。まずは、これまで会館を愛し、支えてくださった市民の皆さんに心よりお申し上げます。

今年はこの節目を記念して、館の歴史



これまで開催してきた数多くのイベントのポスターや、出演者から寄せられた色紙、そして来場者の思いが記された芳名帳を展示し、一般公開しました。開館当初の記録から近年の公演まで、時代を象徴する作品や懐かしい名前が並び、訪れた方々が「あの頃を思い出すね」「この公演を見に来たわ」と語り合ひ姿が見られました。展示を通して、会館が皆の生活と密接に寄り添い、思へる一部となつたことをあらためて実感いたしました。



今回ば昭和の時代まで実際に使用されていました館内の結婚式場を、当時の雰囲気



家族の式に出たことがあります「昔はこんな場所があつたとは知らないなかつた」といった声を多くいただき、会館が地域の方々の人生の節目に寄り添い、大切な時間と共に共有してきた場所であることを認識する機会となりました。時を越えて記憶がよみがえるようになりました。温かい空間となりました。

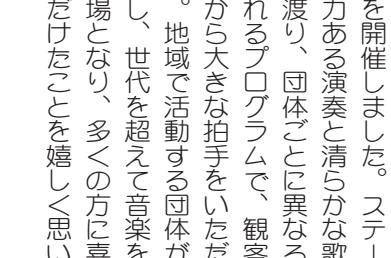
そして10月26日には、日立市立グランドフェスティバルの出演者で構成された特別バンドをはじめ、日立市少年少女合唱団、日立市吹奏楽団が出演するオムニバス



そのまゝに再現、特別公開いたしました。現在は使われて、ない空間ですが、「（）（）」



60周年を迎えた今年は、会館が果たしてきた役割や積み重ねてきた歴史の重みを、職員一同深く感じた一年となりました。これまでの歩みを大切にしながら、これが私たち市民の皆さまが気軽に立ち寄り、文化に触れ、思い出を重ねていける場所として、より親しまれる会館をめざしてまいります。60周年記念事業は、1月の神田伯二独演会、1月の石井竜也「コンサートが残つておらずですが、今後じつは日立市民会館をじつにものしくお願いいたします。



おおやけの山の木と鳥と風と雲と月と星と

日立シビックセンター・多賀市民会館 催し物ご案内





### 発見した石器（一部）

自然石など合計105品  
です。出土概略図を  
書きながら、この石  
器群を回収し、後日  
市教委へ届け、遺物  
一つ一つに白い絵の  
具で「田尻・上の代  
遺跡・X地点」を略

に「TUX」と書かれていますが、私以外、誰もその来歴を知りません。発見時の石器類の出土状況や内容を知つてもらうため、実測図とともに『郷土ひたすら』で報告しました。

たゞやんの石器類が一まとめになっていた理由は謎ですが、

山と海に挟まれた海岸段丘上にある上の代遺跡、そこで見つかったこれらの石器は、海の幸と山の幸に恵まれたひとたちの地に住んだ縄文人の生活を探る重要な手掛かりになります。

## 郷土の歴史との出会い③

わたひき いつお  
— 編引 逸雄 —

## 50年ぶりの再会・・田尻上の代遺跡の石器群

元大みか小学校長。社会科教諭。教育の場に実験考古学の成果を活用する活動(火起こし・土器づくり)等を行う。ふるさと文化少年団顧問。日立市郷土博物館研究員。



### 大型石棒

昭和46年（1971）の夏  
田尻町・上の代遺跡で発掘の機  
会があり、当時、高校3年生の  
私も調査補助員として参加しま  
した。発掘は初めての体験でし  
た。掘り出した土器には縄目の  
文様がありました。住居跡の中  
央には石用いの炉がありました。

友人たちと発掘現場に行つて  
みました（その頃は部外者で  
も工事現場に立ち入ることが  
可能でした）。ブルドーザー  
の動く中、発掘区域外の1平  
方メートルに満たない範囲から偶然  
に大量の石器群を発見しま  
た。石刀1点、大型石棒3点

四千年経つた住居の床は踏み固められ、つい先日まで使っていた土間のようでした。毎日の発掘は驚きの連続で、充実した夏休みでした（お陰で、後に1年間の考える時間を持つことになりましたが…）。



### 小形石棒



### 水晶原石·灰地

その中から石棒と水晶原石を紹介します。石棒は柱状の石を敲いて削り、男性器を模した儀礼の道具です。大地の豊かな恵みを祈るために使われたと考えられています。縄文時代中期の大型石棒は3つに割れて確認されました。元は1メートル近くあったようですが、流紋岩製です。また、縄文時代晩期の長さ30～60センチの小型化した石棒も50点ほど確認されました。ほとんどは鮎川などで産する粘板岩から作られています。地元産の石を上の代遺跡で加工していたようです。それにしてても極めて多い出土数です。次に、水晶原石は長さ10センチほどで石器の素材としたようです。このような水晶原石の出土は極めて稀なことです。

日立・多賀市民会館 催し物ご案内

## 日立市少年少女合唱団



令和7年度定期演奏会  
「あいあいコンサート」  
日時 2026年3月22日(日)  
13:30開演  
(13:00開場)  
会場 日立市民会館  
(0294-22-6481)  
入場  
無料

## ひたち市民劇

# 石のこえ みらいのまち

2026年  
2月7日(土)  
15:00開演 (開場14:30)  
2月8日(日)  
11:30開演 (開場11:00)  
全席指定 一般2,800円  
会場: 多賀市民会館 (029)





## 市民会館のお勧めイベント Pick Up!



日立市民会館開館60周年記念事業

### 石井竜也 スペシャルコンサート2026 in Hitachi



日 時 2月21日(土) 午後5時開演 **好評発売中**  
 会 場 日立市民会館  
 料 金 全席指定 9,500円 (シビックメンバーズ9,300円)  
 プレイガイド  
 ■日立市民会館 ■多賀市民会館 ■日立シビックセンター  
 問合せ 日立市民会館 0294-22-6481

### 純烈 JUNRETSU コンサート2026



日 時 2月6日(金) 13:00開演 (12:30開場)  
 会 場 日立市民会館  
 料 金 全席指定 6,000円  
 問合せ 日立市民会館 0294-22-6481 **好評発売中**

#### ひたちの文化のバックナンバー

財団HPにて  
好評掲載中!



(<http://www.civic.jp/hitachi/magazine>)

日立市民会館は昭和40年の創建から今年で60年を迎えます。この節目の年を記念し、日立市民会館ではさまざまな催しを企画し、市民の皆様にわくわくと感動をお届けしております。詳細につきましては当財団のホームページやSNS、広報誌等で随時ご案内いたします。



「将棋の魂」は今まで最終回です。矢代先生、ありがとうございました。

#### 編集後記

今回のMY仕事で取材をさせていただいた中里ドッグガーデンさん。とにかく気持ちがいい場所で長時間いても飽きがこない所だった■代表の菊池さんにいそぎつた■。代表の菊池さんは、場内を案内していただきいた時のこと。結構なアップダウン。。ファンちゃん達にはワクワクたまらん山道だが、毎年人間ドックでダイエットを命じられるファットな私はちょっとキツかった。立ち止まるや洋服の中で少し見習わなくてはと改めて減量を考えようと思った◆。来年の今頃はきっと苦もなくこの道を歩けるくらいになつていいの？菊池さん、またチャレンジさせていただきますね！

(M)

#### 表紙の写真



ずいぶん昔になるが、イベントのチラシを持って高原小学校を訪れたことがあった。外で遊ぶ子ども達がとても天真爛漫で、職員室まで筆者の手を引いて案内してくれた。川のせせらぎが心地よかったです。

写真は廃校となった高原小学校を利用した「たかはら自然塾」。樹木の紅葉が眩しい。撮影は日高町の島田道子さん。令和8年ふるさと立カレンダー応募作品からの一枚。

発行 公益財団法人日立市民科学文化財団  
「ひたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内  
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633  
HPアドレス <http://www.civic.jp>  
※ご意見・ご感想をお寄せください。

